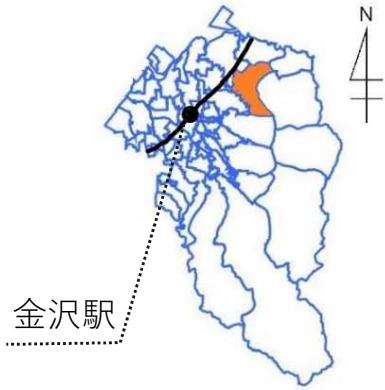


不動寺校区

国勢調査から見える校区のすがた

ひとめでわかる



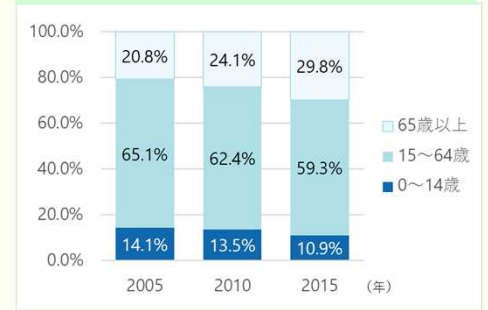
1 人口・世帯数



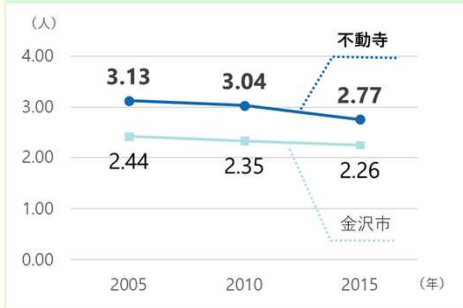
2 年齢3区分別人口



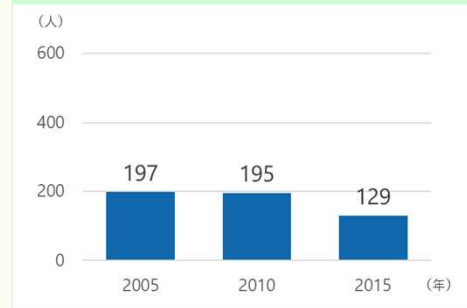
3 年齢3区分別人口割合



4 1世帯当たり人員



5 校区在住児童数[6-11歳]



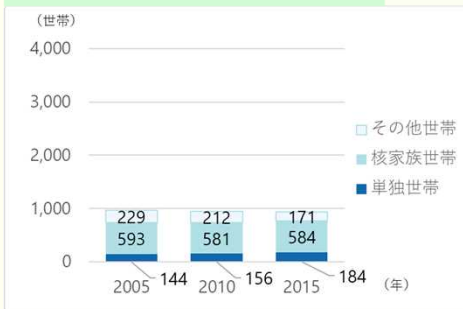
6 高齢世帯数



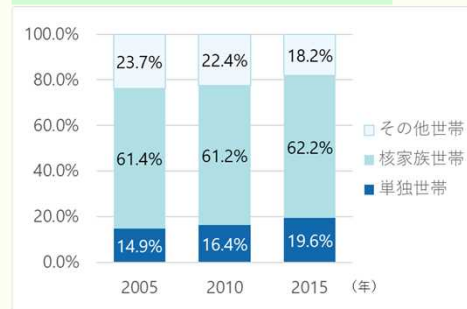
7 住宅の建て方割合



8 家族類型



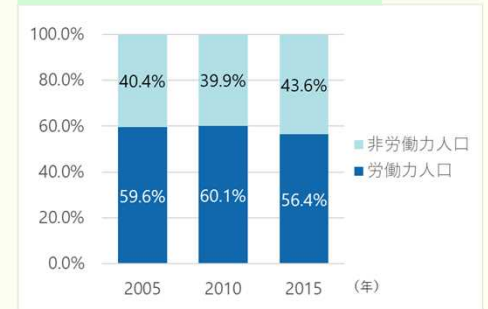
9 家族類型割合



10 労働力人口



11 労働力人口割合



準備中

※ 国から提供される2020年国勢調査の詳細結果を踏まえ、2022年8月頃に公表予定です。

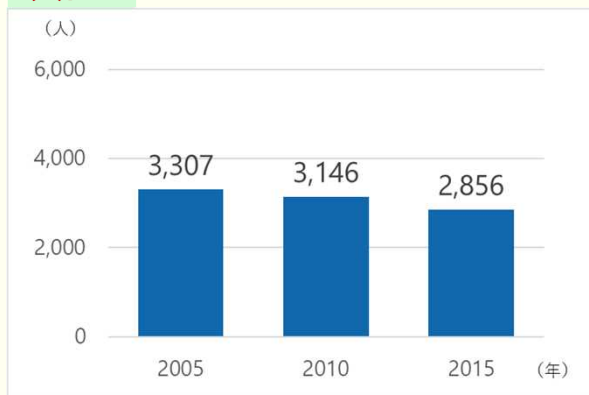
I 概要 人口 2,856人 2010年に比べ▲290人

2015年国勢調査による10月1日現在の不動寺校区の人口は2,856人で、2010年に比べ▲290人となっている。世帯数は940世帯で、2010年に比べ▲18世帯、1世帯当たり平均世帯人員は3.04人で、2010年に比べ▲0.24人となることから、世帯規模が縮小していることがわかる。

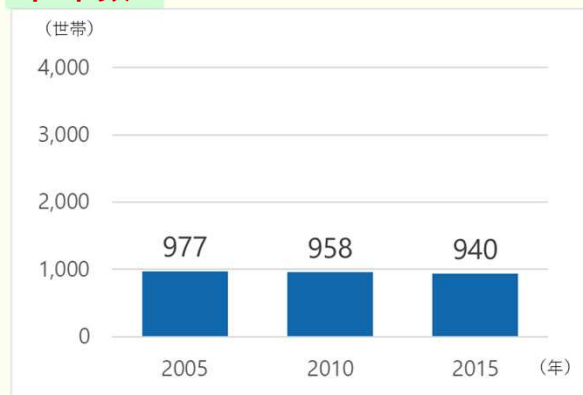
人口（男女別）及び世帯数

年	人口[人]					世帯[世帯]			
	総数	増減数	増減率	男	女	総数	増減数	増減率	1世帯当たり 平均世帯人員[人]
2005	3,307	—	—	1,607	1,700	977	—	—	3.38
2010	3,146	▲161	▲4.9%	1,519	1,627	958	▲19	▲1.9%	3.28
2015	2,856	▲290	▲9.2%	1,388	1,468	940	▲18	▲1.9%	3.04

人口



世帯数



2 人口 65歳以上人口が増加

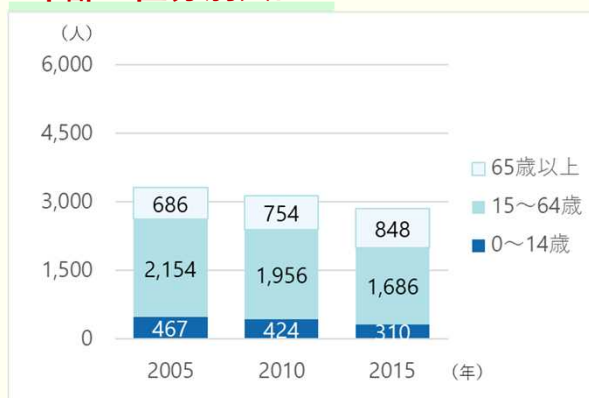
年齢3区分別人口をみると、0～14歳人口は310人、15～64歳人口は1,686人、65歳以上人口は848人で、構成比はそれぞれ10.9%、59.3%、29.8%となり、2010年に比べ、人口、構成比ともに0～14歳人口と15～64歳人口は減少、65歳以上人口は増加している。2010年との比較を増減数[増減率]でみると、0～14歳人口は▲114人[▲26.9%]、15～64歳人口は▲270人[▲13.8%]、65歳以上人口は+94人[+12.5%]となっている。

また、年齢3区分別人口の構成比の推移をみると、0～14歳人口と15～64歳人口の構成比は一貫して減少し続けており、65歳以上人口の構成比は一貫して増加し続けている。

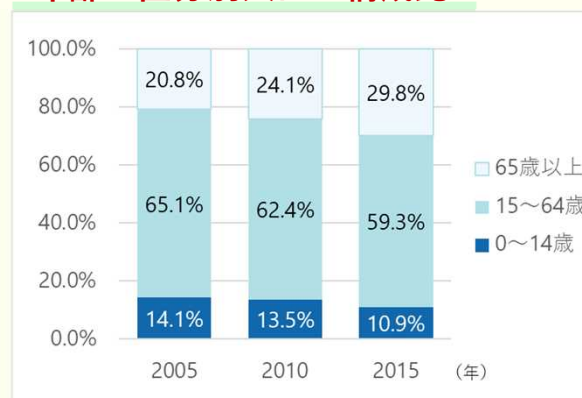
年齢3区分別人口 ※総数には年齢「不詳」を含む

年	人口[人]				構成比				増減率			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
2005	3,307	467	2,154	686	100%	14.1%	65.1%	20.8%	—	—	—	—
2010	3,146	424	1,956	754	100%	13.5%	62.4%	24.1%	▲4.9%	▲9.2%	▲9.2%	9.9%
2015	2,856	310	1,686	848	100%	10.9%	59.3%	29.8%	▲9.2%	▲26.9%	▲13.8%	12.5%

年齢3区分別人口



年齢3区分別人口の構成比



3 世帯 単身者、2人世帯が増加

(1) 世帯数及び世帯人員

一般世帯数は939世帯で、増減率の推移をみると、2010年が▲1.8%、2015年が▲1.1%と一貫して減少し続けている。

世帯人員別の増減率をみると、1人世帯、2人世帯が増加している一方、3人以上の人員の世帯は減少している。

また、世帯人員別の構成比は、2人世帯が31.8%と最も大きく、次いで1人世帯が19.6%、3人世帯が19.2%となっている。

世帯人員別一般世帯数

年		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
一般世帯数 [世帯]	2005	966	144	243	202	208	88	55	26
	2010	949	156	249	198	199	72	51	24
	2015	939	184	299	180	162	68	34	12
構成比	2005	100%	14.9%	25.2%	20.9%	21.5%	9.1%	5.7%	2.7%
	2010	100%	16.4%	26.2%	20.9%	21.0%	7.6%	5.4%	2.5%
	2015	100%	19.6%	31.8%	19.2%	17.3%	7.2%	3.6%	1.3%
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲1.8%	8.3%	2.5%	▲2.0%	▲4.3%	▲18.2%	▲7.3%	▲7.7%
	2015	▲1.1%	17.9%	20.1%	▲9.1%	▲18.6%	▲5.6%	▲33.3%	▲50.0%

3 世帯

(2) 世帯の家族類型

一般世帯数について、その世帯主と世帯員の続柄により家族構成を類型化（家族類型）してみると、「核家族世帯」は584世帯と、一般世帯の62.2%を占めており、2010年に比べ+3世帯[+0.5%]となっている。また、世帯人員が一人の「単独世帯」は184世帯で、2010年に比べ+28世帯[+17.9%]となっている。

世帯の家族類型別一般世帯数

年		総数	単独世帯	核家族世帯	その他の世帯
一般世帯数 [世帯]	2005	966	144	593	229
	2010	949	156	581	212
	2015	939	184	584	171
構成比	2005	100%	14.9%	61.4%	23.7%
	2010	100%	16.4%	61.2%	22.4%
	2015	100%	19.6%	62.2%	18.2%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	▲1.8%	8.3%	▲2.0%	▲7.4%
	2015	▲1.1%	17.9%	0.5%	▲19.3%

3 世帯

(3) 高齢世帯

一般世帯のなかで、「高齢単身世帯」は101世帯で、2010年に比べ+19世帯[+23.2%]であり、一般世帯の10.8%を占めている。また、「高齢夫婦世帯」は145世帯で、2010年に比べ+24世帯[+19.8%]であり、一般世帯の15.4%を占めている。

高齢世帯数

年	一般世帯数 [世帯]	高齢単身世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率	高齢夫婦世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率
2005	966	67	6.9%	—	114	11.8%	—
2010	949	82	8.6%	22.4%	121	12.8%	6.1%
2015	939	101	10.8%	23.2%	145	15.4%	19.8%

※ 高齢単身世帯は、65歳以上の一人のみの一般世帯。

高齢夫婦世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯。

4 住宅 所有関係にかかわらず一般世帯が減少

(1) 住宅の所有関係

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数をみると、持ち家に住む世帯の方が多く、806世帯[構成比88.6%]と全体の約9割を占めている。

また増減率をみると、2010年に比べ持ち家に住む世帯が▲1.2%、持ち家以外に住む世帯が▲14.0%となっている。

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数

年		総数	持ち家	持ち家以外
実数[世帯]	2005	941	807	134
	2010	937	816	121
	2015	910	806	104
構成比	2005	100%	85.8%	14.2%
	2010	100%	87.1%	12.9%
	2015	100%	88.6%	11.4%
増減率	2005	—	—	—
	2010	▲0.4%	1.1%	▲9.7%
	2015	▲2.9%	▲1.2%	▲14.0%

4 住宅

(2) 住宅の建て方

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別構成をみると、一戸建に住む世帯が815世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の89.6%を占めている。以下、多い順に共同住宅に住む世帯が92世帯[構成比10.1%]、その他の住宅に住む世帯が3世帯[同0.3%]となっている。

また増減数[増減率]をみると、2010年に比べ一戸建に住む世帯が▲10世帯[▲1.2%]、共同住宅に住む世帯が▲13世帯[▲12.4%]となっている。

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別世帯数

年		総数	一戸建	共同住宅	その他
住宅に住む 一般世帯数 [世帯]	2005	941	826	103	12
	2010	937	825	105	7
	2015	910	815	92	3
構成比	2005	100%	87.8%	10.9%	1.3%
	2010	100%	88.0%	11.2%	0.8%
	2015	100%	89.6%	10.1%	0.3%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	▲0.4%	▲0.1%	1.9%	▲41.7%
	2015	▲2.9%	▲1.2%	▲12.4%	▲57.1%

5 労働 労働力人口が減少

15歳以上人口は2,534人で、2010年に比べ▲176人[▲6.5%]となっている。労働力人口は1,395人で、2010年に比べ▲176人[▲11.2%]、非労働力人口は1,080人で、2010年に比べ+37人[+3.5%]となっている。労働力率は55.1%で、2010年に比べ▲2.9ポイントとなっている。

男女ともに労働力人口が減少している。

		15歳以上人口			労働力人口			非労働力人口		
年		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
人口 [人]	2005	2,840	1,368	1,472	1,688	913	775	1,142	446	696
	2010	2,710	1,298	1,412	1,571	857	714	1,043	400	643
	2015	2,534	1,234	1,300	1,395	751	644	1,080	454	626
増減数 [人]	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲130	▲70	▲60	▲117	▲56	▲61	▲99	▲46	▲53
	2015	▲176	▲64	▲112	▲176	▲106	▲70	37	54	▲17
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲4.6%	▲5.1%	▲4.1%	▲6.9%	▲6.1%	▲7.9%	▲8.7%	▲10.3%	▲7.6%
	2015	▲6.5%	▲4.9%	▲7.9%	▲11.2%	▲12.4%	▲9.8%	3.5%	13.5%	▲2.6%

労働力率		
総数	男	女
59.4%	66.7%	52.6%
58.0%	66.0%	50.6%
55.1%	60.9%	49.5%
-	-	-
▲1.5	▲0.7	▲2.1
▲2.9	▲5.2	▲1.0

※増減の単位は[ポイント]

※労働力率は四捨五入のため、増減の表記と計算結果が一致しないことがある。

※ 15歳以上人口 = 労働力人口 + 非労働力人口 + 労働力状態「不詳」の人口

労働力率 = 労働力人口 / 15歳以上人口

労働力率は、労働力として経済活動に参加している人の比率をみる指標として利用されている。